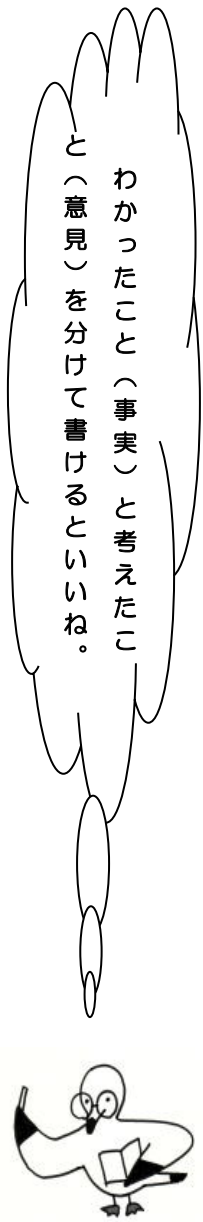


っ	ピ	し	と	日	タ	四	
て	ユ	は	い	本	し	年	こ
い	し	、	う	の	ゲ	生	の
た	タ	日	こ	小	し	が	グ
の	し	本	と	学	ム	一	ラ
で	ゲ	の	が	四	を	日	フ
お	し	小	わ	年	す	の	か
ど	ム	学	か	生	る	う	ら
ろ	を	生	り	は	時	ち	イ
き	し	は	ま	54	間	で	ギ
ま	て	も	し	分	が	コ	リ
し	い	っ	た	く	90	ン	ス
た	る	と	。	ら	分	ピ	の
。	と	コ	わ	い	で	ユ	小
	思	ン	た	だ	、	し	学

八行

五行



※ポイントをおさえて、書いてまとめることを習慣にすると、自分の考えをまとめて文章に書く力が付いてきて、書くことがきらいではなくなります。ここでは、教材5を例に、書いてまとめるコツを見つけてみましょう。

《ポイント》

1 課題を正確に理解する

※何について書くの？

- ① 条件1を読んでみましょう。
- ② 書く課題は二つあります。

- ・「グラフを見てコンピューターゲームをすることについてわかったことと」
- ・「それをもとにして考えたこと」

2 課題に的確にこたえる

※課題にこたえる基になる資料(今回はグラフ)を読み取る

- ① 何を表したグラフ？

☆小学四年生が一日のうちでコンピューターゲームをする時間を、四つの国で調べた結果

※グラフから読み取ったこと(Ⅱ事実)とそれをもとにして考えたこと(Ⅱ意見)は分ける

- ② 「グラフを見て」「わかったこと」って何？

☆調べた四つの国は「日本」「アメリカ」「イギリス」「ロシア」である。

☆小学四年生が一日のうちでコンピューターゲームをする時間は、長い方から順にイギリス(90分)、アメリカ(67〜68分)、日本(54〜55分)、ロシア(48〜49分)である。

☆その他(

③ 「それをもとにして考えたこと」って何がある？

☆日本がどこよりも一番長いと思っていた。

↓(だから)四つの国の中では三番目だったのは意外！

☆アメリカでは、ゲームをしている時間がもっと長いと考えてた。

↓(だから)イギリスが一番ということでおどろいた。

☆その他(

### 3 条件を満たして書く

※他の条件はないかな？

○条件2には「五行以上八行以内で書きましよう。」とあります。

↓解答用紙をみて、61字以上120字以内で書くという条件を満たすようにする。

※字数だけでなく、段落の数や文末の表現など、細かな条件が加わることもあります。

### 4 文章の組み立てを考える

※何をどういう順番で書いたらいいのかな？

① 今回の場合は「わかったこと」「考えたこと」の順で書けばよさそう！

② ☆「わかったこと」○「考えたこと」をそれぞれ一文で表して、かんたんに組み立ててみる

☆四つの国の中ではイギリスが一番で、日本が三番目だった。

○日本の小四はもっとゲームをしていると思っていたので意外だった。

### 5 文章としてととのえる

※条件の字数に合うように、4で書いた一文の内容を補い、つなぎ合わせる。



友達と読み合って、お互いにアドバ  
イスするといよいよ！

も	に	聞	レ	ま	く	が	A
変	変	き	も	す	ら	大	か
化	わ	ま	水	。	し	き	ら
が	り	し	洗	家	方	く	の
な	が	た	に	に	が	増	二
い	な	。	変	ふ	変	え	十
の	い	B	わ	ろ	わ	て	年
だ	の	か	っ	が	っ	い	間
と	で	ら	て	付	た	る	で
思	、	は	き	い	か	の	、
い	水	、	た	た	ら	は	水
ま	の	く	と	り	だ	、	の
す	使	ら	母	、	と	人	使
。	用	し	か	ト	思	々	用
	量	方	ら	イ	い	の	量

教材 5-1(2)

《てびき》文章にまとめて書く力を付けるには

※書く力を付けるには、いろいろなケースで、くり返し書く経験けいけんを重ねることが大切です。  
経験を重ねれば、書いてまとめるコツもつかめてきます。ここでは、「書くことについて必要な情報じょうほうを集める」という方法を経験してみましょう。

〈ポイント〉

1 課題を正確せいかくに理解りかいする

※何なにについて書くのかをしっかりとつかみましょう。

- ① 条件①じょうけんをよく読んで、課題を理解しましょう。
- ② 書く課題は二つあります。
  - ・ グラフを見て、一九六五年と比べて一九八五年の時点で「大きな変化が見られるわけ」
  - ・ 一九八五年と二〇〇五年で「あまり変化が見られないわけ」
- ③ 自分の生活をふりかえりましょう。
  - ・ 条件①にあるように、水の使い方について、自分の生活をふりかえって考えてみましょう。

2 課題に的確に答える

※課題に答える基もととなる資料（今回はグラフ）を読み取る

① 何のグラフか？

☆一九六五年から二十年ごとの国全体における水の使用量の変化

## ※情報を集める

② 一九六五年、一九八五年の水の使い方はどのようにちがっているのか？

☆社会科の資料集しりょうやインターネットなどを使って、調べられることを調べてみましょう。

☆おうちの人や近所の人たちにも話を聞いてみましょう。

☆三年生の社会科の学習をふりかえったり、資料集を活用したりしてみましょう。

☆一九六五年はなぜこれほど水の使用量が少なかったのかを調べてみましょう。

☆一九八五年になるとなぜこれほど水の使用量が増えたのかを調べてみましょう。

③ 自分の生活をふりかえって考える。

☆今の自分の生活における水の使い方についてふりかえってみましょう。

## 3 条件を満たして書く

### ※他の条件はないかな？

↓条件2には「五行以上八行以内で書きましょう。」とあります。取材をして集まったたくさん情報を整理しましょう。

① 聞いたたり、調べたり、考えたりしたことのうち、何を書くか決めましょう。

② 書くことが多すぎる時は、大切なことは何か考えて、内容をしぼりましょう。

## 4 文章の組み立てを考える

### ※何をどういう順番で書いたらいいのかな？

① 今回の場合は、初めに一九八五年に大きな変化が見られた理由を書き、次に二〇〇五年には大きな変化が見られなかった理由を書くという順番でよいでしょう。

② 取材してわかったこと、考えたことを簡潔にまとめ、①の内容に書き加えることを決めましょう。

## 5 文章としてととのえる

※条件の字数に合うように、**4**で書いた内容を補い、つなぎ合わせる。

### 情報を集める時のポイントや利点

- ・ 本、新聞、テレビ、インターネットなど、いろいろな情報源からさぐる。
- ・ 「人に聞く」という方法も取材の有効な手段となる。
- ・ 取材をしているいろいろな角度から見ること、考え方が広がる。

教材5-1(3)

文章を書くこと

《解答例とてびき》

年

組

番

名前

【解答例】

こんにちは。お元気ですか。わたしは、大町小学校の山田かずおです。

前文

先	日	は	、	お	祭	り	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て										
い	た	だ	き	、	あ	り	祭	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て										
お	祭	り	に	き	、	お	祭	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て										
も	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て										
お	も	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て									
に	お	も	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て								
切	た	に	お	も	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て						
に	切	た	に	お	も	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て					
あ	に	ち	守	み	地	祭	り	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て						
り	し	も	っ	こ	い	り	だ	は	、	お	祭	り	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て				
が	て	地	て	し	き	に	き	、	あ	り	が	と	う	い	ま	を	た	。て	の	お	話	を	し	て		
と	い	い	い	を	の	と	、	お	祭	り	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て
う	き	き	る	保	方	て	あ	祭	り	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て	
ご	た	の	こ	存	々	も	り	り	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て		
ざ	い	文	と	し	が	長	が	に	つ	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て			
い	と	化	を	た	お	い	と	つ	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て				
ま	思	で	知	り	は	歴	う	い	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て					
し	い	あ	り	し	や	史	ご	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て						
た	ま	る	ま	な	し	が	ざ	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て							
。し	お	し	が	を	あ	い	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て									
た	祭	た	ら	伝	っ	ま	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て										
。り	。、	え	て	し	を	し	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て							
本	を	ぼ	大	た	、	た	し	て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て						
当	大	く	切	り	今	。て	の	お	話	を	し	て	の	お	話	を	し	て								

平成二十六年十一月二十五日

大町資料館  
館長 中山あつし様

本文の書き出しは、一般的には一字下げて書くものだけれど、ここでは、書く内容の一例を示しておくよ。



山田かずお

後付け

本文 8



〈ポイント〉

1 手紙を書く相手と目的(今回の課題)を正確に理解する

※だれ(相手)にどんなことを伝える(目的)ために書くのかをしっかりとつかみましょう。

○問題と、山田さん・田中さん二人の会話をよく読んで、今回の課題を理解しましょう。

・相手は、大町資料館の中山館長さんです。

・目的は、地いきのお祭りについて調べるため、中山さんに、お祭りのことについてたくさん教えていただいたので、お礼の気持ちを伝えること。

2 課題に的確に答える

※課題に答える基になる二人の会話から、どんな手紙を書いたらよいか、考えましょう。

○次の二点がポイントになります。

・祭りの話をしてくださったことに対するお礼を述べること。

・お話しいただいた内容についての感想・思いを伝えるように書くこと。

3 条件を満たして書く

※条件1・2・3をふまえて書きましょう。

○条件1では、田中さんか山田さんのどちらかの立場に立つことになっています。二人の会話を読んで、書きやすいと思う方を選んでかまいません。

○条件3には「五行以上九行以内で書きましょう。」とあります。お礼の気持ちや、館長さんのお話に対する感想や思いを、自分なりに考えて、十分に伝わる長さで書けるようにしてみましょう。

#### 4 手紙文の組み立てを考える

※何をどのくらい順番で書いたらいいのか？

○手紙文の書き方については、三・四年生で学習しています。よく思い出してみましょう。先生や友達に聞いてみるのもいいでしょう。

#### 5 手紙文としてととのえる

※手紙を読む相手の立場や手紙の目的に応じて、文末の表現は敬体です・ますなどの丁寧な述べ方を使ったり、感謝の気持ちや感想を伝えるのに適切な言葉を使ったのりして、条件の字数に合うようにまとめて書く。

お礼の手紙を書くとき心がけたらいいことって？

○自分なりに考えたことを書き出してみても、先生や友達と話し合ってみよう。

自分の考えを文章に書く力をつけるには

《解答例とてびき》

やってみよう1

【解答例】

み	な	さ	ん	は	、	ス	ポ	ー	ツ	す	る	こ	と	を	ど	の	よ	う	
に	考	え	て	い	ま	す	か	。	わ	た	し	は	、	ス	ポ	ー	ツ	を	し
て	体	を	動	か	す	こ	と	は	、	と	て	も	大	切	な	こ	と	だ	と
思	っ	て	い	ま	す	。													

【てびき】

〈ポイント〉

自分の考えが明確めいかくになるように書く

- ◆はじめに、自分の考えをはっきり書きます。その自分の考えが文章全体の中心になります。
- ◆自分の考えに続いて、理由や具体的な例をあげて、分かりやすく説明していきます。

◇書き出しの工夫もしてみましよう

書き出しの部分で、読み手に呼びかける表現を用いると、読み手は自分の考えと比べながら文章を読むことができます。



わ	た	し	は	、	友	だ	ち	が	こ	ま	っ	て	い	る	と	き	は	、	
助	け	て	あ	げ	る	べ	き	だ	と	思	い	ま	す	。	な	ぜ	な	ら	、
自	分	が	こ	ま	っ	て	い	た	と	き	に	、	友	だ	ち	が	手	を	貸
し	て	く	れ	て	、	と	て	も	う	れ	し	い	気	持	ち	に	な	っ	た
経	験	が	あ	る	か	ら	で	す	。										

【てびき】

〈ポイント〉

自分がなぜそのように考えたのか、理由を書く

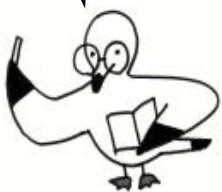
◆理由を書くときは…

「なぜなら〜からです。」「なぜかというところからです。」「その理由は〜です。」「などの表現を用います。

◇原因を書くこともあります

理由ではなく、自分がそのように考えた原因を書くこともあります。そのときは、

「〜のように考えたのは〜のためです。」「などの表現を用います。



わ	た	し	は	、	安	全	に	登	校	す	る	た	め	に	、	い	つ	も	
注	意	し	て	い	る	こ	と	が	あ	り	ま	す	。	例	え	ば	、	横	だ
ん	歩	道	を	わ	た	る	と	き	は	、	青	信	号	に	な	っ	て	い	る
と	き	で	も	、	車	や	自	転	車	が	来	な	い	か	、	周	り	の	様
子	を	よ	く	見	る	よ	う	に	し	て	い	ま	す	。					

【てびき】

〈ポイント〉

わかりやすく伝えるために、具体的な例を書く

◆具体的な例を書くときは…

「例えば」「例をあげると」「」などが当たります。「」などの表現を用います。

◇具体的な例とは、どのようなものでしょう

- ・ 日常生活やこれまでに経験したことがあるエピソード。
- ・ 本や文章、絵や写真などを取り上げたもの。



## 問題

## 【解答例】

みなさんは、日本の四季の中でどの季節が一番好きですか。わたしは、夏が**夏**が一番好きです。なぜなら、夏には長い夏休みがあって、毎年のように楽しい思い出がたくさんできるからです。例えば、わたしの家族は、毎年夏休みに家族旅行へ出かけます。旅行の計画を立てるときには、今までに旅行したときの写真を見ます。わたしは、家族と楽しい思い出をする時間が大好きです。だから、わたしは楽しい思い出が増えていく夏が、一年の中で一番好きな季節です。

【てびき】

## ポイント

書いた文章の構成こうせいを整理してみましょう

※この文章構成は、自分の考えを述べるための構成の1つの例です。

- ① はじめに、自分の考えが明確になるように書く。
- ② 「なぜなら」などの理由を述べる表現を使って、そのように考えた理由を書く。
- ③ 「例えば」などの例をあげる表現を使って、具体的な例を書く。
- ④ 最後に、「だから」などの表現を使って文章をまとめる(しめくくる)。

書いた文章を読み直して、よりよい文章に書き直しましょう

- 漢字や言葉の使い方は、まちがっていないか。
- 自分の考えが明確になっているか。
- 文末表現に注意して書いているか。
  - ※「〜だ。」「〜である。」「〜と」「〜です。」「〜ます。」「〜のどちらかにそろえる
- 「なぜなら」「例えば」などの表現は、正しく用いられているか。
- 全体の文章構成はよいか。

◇書いた文章は、友だちに読んでもらって、感想や意見を聞いてみましょう。



年

組

番

名前

こんにちは。お元気ですか。わたしは、本村小学校の山口きみ子です。

はじめの  
あいさつ

		九行				五行			
ま	分	は	と	い	が	に	く		
す	か	、	を	る	う	、	祭	今	
。	ら	十	発	、	れ	お	を	度	
	、	月	表	と	し	い	行	、	
	本	二	す	米	い	し	い	わ	
	村	十	る	田	か	い	ま	た	
	小	八	予	さ	ら	と	す	し	
	学	日	定	ん	米	言	。	た	
	校	日	で	が	づ	っ	わ	ち	
	体	午	す	話	く	て	た	の	
	育	前	。	し	り	く	し	学	
	館	十	収	て	を	れ	は	校	
	で	時	か	い	続	る	そ	で	
	行	三	く	た	け	こ	の	収	
	い	十	祭	こ	て	と	時	か	

本文

これからもお体にご気を付けて、お仕事をつづけてください。  
さようなら。

おすびの  
あいさつ

九月十六日

山口きみ子

後付け

米田 耕作 様  
こうさく



年

組

番 名前

こんにちは。お元気ですか。わたしは、本村小学校の川田よしおです。

五行 九行

お				す	え	え	行	
待	場		日	。	る	て	い	ぼ
ち	所		時	ぜ	と	い	ま	く
し	.		.	ひ	き	た	す	た
て	本	午	十	見	の	だ	。	ち
い	村	前	月	に	コ	い	ぼ	は
ま	小	十	二	来	ツ	た	く	、
す	学	時	十	て	に	田	は	十
。	校	三	八	く	つ	植	、	月
	体	十	日	だ	い	え	米	に
	育	分	(金)	さ	て	で	田	収
	館			い	発	な	さ	か
				。	表	え	ん	く
					し	を	に	祭
					ま	植	教	を

これからもお体に気をつけて、お仕事をつづけてください。  
さようなら。

九月十六日

川田よしお

米田耕作様  
こうさく

おすびの  
あいさつ  
後付け

本文

教材5-1(6)の解答

文章を書くこと

年

組

番

名前

【解答欄】  
かいとうらん

	す	見	に	か	う	理	れ	
	。	や	、	り	ー	由	い	わ
		す	B	や	な	は	に	た
		い	案	す	ら	、	使	し
		ポ	よ	い	、	ー	お	は
		ス	り	と	ー	ト	う	、
		タ	も	思	年	イ	ー	A
		ー	字	う	生	レ	が	案
		に	が	か	や	を	い	の
		な	少	ら	二	き	い	ー
		る	な	で	年	れ	と	ト
		と	い	す	生	い	思	イ
		思	の	。	に	に	い	レ
		い	で	そ	も	使	ま	を
		ま	、	れ	わ	お	す。	き



- 「理由」を書くときの書き出し方には、「なぜかという、～」「その理由は、～」等があるね。
- 書き終わりを「～のためです。」とする方法もあるね。

教材5-1(6)の解答

文章を書くこと

年

組

番

名前

【解答欄】  
かいとうらん

	ぼ	持	よ	い	だ	き	ど	
	く	ち	い	で	と	れ	う	ぼ
	は	に	と	気	、	い	し	く
	B	な	、	分	お	に	て	は
	案	る	き	が	れ	使	か	、
	が	と	れ	よ	い	っ	と	B
	い	思	い	い	を	て	い	案
	い	い	に	か	言	く	う	が
	で	ま	使	ら	わ	れ	と	い
	す	す	お	で	れ	て	、	い
	。	。	う	す	て	あ	ー	と
		だ	と	。	い	り	ト	思
		か	す	気	る	が	イ	い
		ら	る	分	み	と	シ	ま
		、	気	が	た	う	を	す。